



学校だより 11月号

市田っ子

令和4年10月25日発行  
熊谷市立市田小学校

花と笑顔とあいさつ「ありがとう」いっぱいの学校

市田小HP <http://www.ichida.ed.jp/>

## 秘めた力を生かして

保護者、地域の皆様、令和4年度前期における本校教育活動にご理解、ご協力いただき感謝申し上げます。おかげさまで、大きな事故なく終了することができました。また後期もご支援、よろしくお願いいたします。

「新型コロナウイルス流行前と同様に」と、いうわけにはいきませんが、今年度前期には、5年生が3年ぶりに泊を伴う行事（林間学校）を実施することができました。各学年でも、バスを利用した校外学習を実施できました。2週間後には6年生の修学旅行があります。卒業までには未だ少し時間がありますが、市田小学校生活の集大成として、「無事、実施できること」と「成功すること」を祈り、期待しています。

後期スタートで、校長室（といますか私）に衝撃が走りました。というのは、校長室にある「ペントミノ」という難解なパズルを1年生があつという間に完成させたのです（対象年齢が6歳からとはいえ）。

このパズルは、12個のピースを長方形に整えるパズルです。過去（2021年）に、2名の児童が4回（うち1名が3回）成功しましたが、たくさんの児童がチャレンジし途中で諦めていました。



スタート

Aさん（1回目）

Bさん

Aさん（2回目）

Aさん（3回目）

Cさん（今回）

正解は2339通りあります。成功を見るとすべて異なっているのがわかります。

このパズルを私の学んだ心理学や脳科学を通して見ると、「視覚優位」と「聴覚優位」という言葉が浮かんできます。

○視覚優位：目で見えた情報を処理するのが得意

- ・ 絵、写真、グラフ、動画など視覚的に示されたものを理解しやすい
- ・ 絵を描くことが得意であることが比較的多い
- ・ 漢字を部首で覚えること
- ・ 文字だけの文章題を苦手とする
- ・ 漢字を似た字と間違えて書いてしまいやすい（「少」を書こうとして「小」）

○聴覚優位：耳で聞いた情報を処理するのが得意

- ・ 口頭指示のほうが理解しやすい
- ・ 音楽を聴いているとすぐに歌詞を覚える
- ・ 英語のリスニングが得意
- ・ 音楽を聴きながら勉強することが苦手（頭の中で音楽が流れて、思考が邪魔をされる）
- ・ 読みが同じ漢字を間違えやすい（「商」と書こうとして「賞」）

どちらも得意という人もいますが、多くの方は「私はこっちのタイプかな」と、優位性があると思います。

このパズルを完成させた児童は視覚優位であると考えられます（しっかりとした確認は必要ですが）。得意がわかると、自分に合った学習スタイルや趣味が見つかり、ひいては職業につながることも考えられます。

2年生の九九が始まります。もうおわかりかもしれませんが、暗唱で覚えるタイプなのか、九九表を見て覚えるタイプなのか、傾向がつかめると効率よく覚えられるかもしれません。また、「漢字はたくさん書いた方が覚えられる」と思いますが、苦手な方法で練習しても気持ちも乗らず辛いだけになってしまうので、自分に合う覚え方を使えば、今までより早く覚えられるかもしれません。今の時代、インターネットに得意に合わせた学習方法がたくさん掲載されています。お時間ありましたら、ちょっとのぞいてみてください。

学校も、視覚や聴覚をバランスよく取り入れた、「わかった」「できた」授業に取り組みます。

## ようこそ先輩！山岸範宏さん！サッカー教室 ～150周年記念行事～

10月3日（月）に、本校の卒業生、元浦和レッズのGK山岸範宏さんが、創立150周年記念イベントの一つとして本校に来校し、「ようこそ先輩！山岸範宏さん！サッカー教室」を開いてくださいました。150周年のお祝いメッセージや子供たちに「夢を叶えるために必要なこと」や「努力することの大切さ」などを自身の経験を基に伝えてくださいました。サッカー教室では、スローインやパントキック等のプロの技も披露してくださり、子供たちとのPK対決もしてくださいました。圧巻のプレーには子供たちも驚いていました。貴重な経験をさせていただきました。



## 運動会大成功 ～全力と協力の二刀流で 目指せ！運動王！！

10月8日（土）に運動会が行われました。前日の雨が嘘のような秋晴れ。まるで、お天道様も子供たちを応援しているかのようなようでした。どの競技や種目にも全力で取り組んだ子供たち。「全力と協力の二刀流で 目指せ！運動王！」のスローガンの通り、全力を出し切り、協力して運動王になりました。ご多用の中、温かなご声援ありがとうございました。



裏面もあります